

榎木 亨 大阪大学

② 岩盤力学委員会

委員 黒田 晃 建設省
井上 孝 建設省
吉村 恒 国 鉄

③ 耐震工学委員会

委員 毛戸 秀幸 日本道路公団

④ 論文集編集委員会

第5部会長 尾坂 芳夫 国 鉄
第4部会幹事 松浦 義満 建設省 土木研究
所

◎各種委員会

(1) プレストレスト コンクリート設計施工指針改訂小委員会設計分科会 (44.11.18) 出席者：猪股主査，ほか7名。議事：プレストレスト コンクリート設計施工指針設計編の逐条審議を行なった。

(2) 第9回企画委員会 (44.11.18) 出席者：仁杉委員長，柳沢会長，石原前会長，羽田専務理事，ほか15名。議事：1) 第8回企画委員会議事録の確認。2) 各種委員会のあり方について。3) 土木学会の組織について。4) 土木学会の財政について。5) 土木学会の行事はいかにあるべきか。

(3) 終局強度打合せ (44.11.19) 出席者：関係者7名。議事：鋼，コンクリートの終局強度設計方法につき打合せを行なった。

(4) 水理委員会第1回水文学小委員会 (44.11.19) 出席者：石原委員長，ほか7名。議事：1) 経過報告。2) 水文学研究体制について。3) 水資源問題への土木分野の課題について。4) 水理公式集改訂について。5) 小委員会の活動方針について。6) 日本学術会議地球物理学研究連絡委員会陸水分科会について。

(5) コンクリート委員会 JIS 規格小委員会 (44.11.19) 出席者：国分委員長，ほか14名。議事：コンクリート関係 JIS の見直し審議を行なった。

(6) 水理委員会第3回幹事会 (44.11.19) 出席者：林委員長，ほか12名。議事：1) 第14回水理講演会について。2) 「水理学研究の現況」の調査について。3) 委員会内規について。4) 水理公式集改訂について。5) 水文学研究体制の強化について。6) 昭和44年度土木学会賞候補推薦について。7) その他。

(7) 論文集編集委員会第1部会 (44.11.19) 出席者：前田部会長，ほか5名。議事：1) 前回部会長報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 部会長報告に関連して。5) その他。

(8) 第32回学術講演連絡委員会 (44.11.20) 出席者：嶋委員長，ほか11名。議事：1) 全国大会について。2) 夏期講習会について。3) その他。

(9) 岩盤力学委員会第2回研究会 (44.11.21) 出席者：関係者15名。議事：講演「本州四国連絡橋および青函トンネルの調査について」日本鉄道建設公団 浜 建介。

(10) 海岸工学委員会編集小委員会 (44.11.21) 出席者：堀川委員長，ほか8名。議事：1) Coastal Engineering in Japan, 1969 の編集について。2) 第16回海岸工学講演会講演集の編集作業。

(11) 土木計画学研究委員会幹事会 (44.11.24) 出席者：関係者6名。議事：1) 前回の報告。2) 交通と水のクローの相互意見交換・研究。3) その他。

(12) 空港舗装研究委員会 (第1回) (44.11.24) 出席者：国分委員長，ほか16名。議事：1) 委員長挨拶。2) 公団理事挨拶。3) コンクリート舗装部会報告。4) アスファルト舗装部会報告。5) 公団よりの委託内容の検討。6) 試験舗装計画の説明。

(13) 会誌編集委員会感賞論文審査会 (44.11.26) 出席者：森審査委員長，ほか3名。議事：1) 受付論文査読。2) 入賞論文協議。3) その他。

(14) 大学土木教育委員会第11回幹事会 (44.11.26) 出席者：山口幹事長，ほか3名。議事：1) 大学卒業後5年程度の人を対象としたアンケートについて。2) 座談会に関する各幹事の意見およびとりまとめ方法について。3) 大学院に関する諸問題について。

(15) 欧文論文集編集小委員会 (44.11.26) 出席者：林委員長，ほか4名。議事：1) 欧文論文集の編集状況について。2) 表紙について。3) その他。

(16) 水理公式集改訂委員会 (44.11.26) 出席者：岩佐主査，ほか3名。議事：1) 改訂に伴う執筆内容の確認。2) 海外出張(長期)の委員執筆分担の割りあて。3) 作業費の配分について。

(17) 土構造物の設計標準に関する研究委員会第8回幹事会 (44.11.28) 出席者：関係者19名。議事：1) 前回幹事会議事録の確認。2) 第2回委員会提出資料について。

(18) 投稿の手引き作成小委員会 (44.11.29) 出席者：関係者6名。議事：1) 経過説明。2) 委員会構成。3) 作業予定について。

(19) 文献調査委員会 (44.12.1) 出席者：新谷委員長，ほか12名。議事：1) 会誌52巻2号登載抄録について。2) 紹介記事について。3) 解説記事について。4) その他。

(20) 欧文年報編集小委員会打合せ

◎昭和44年度第7回理事会議事録 (44.12.19) 出席者：尾之内，国分，米谷，長浜の各副会長，羽田専務理事，安藤，伊藤，内田，小川，岡田，倉田，末沢，鈴木(薫)，土方，平岡，星，牧野，南，毛利の各理事。記事：柳沢会長所用のため欠席，国分副会長議長となる。議事録署名理事の決定：国分副会長，羽田専務理事，平岡理事。A. 報告事項：1) 会計報告。2) 刊行物頒布報告。3) 各種委員会その他報告。B. 協議事項：1) 科学研究費審査委員候補者の推薦について；国分議長，羽田専務理事から本件は前の理事会において，推薦候補者の案をつくるため，学校関係の各地区の理事7名が決まられ，同理事により案がつけられた，本案につき協議し推薦する候補者は定数の1.5倍である旨説明，これを承認。2) 建設業に関する懇談会のメンバーについて；羽田専務理事からこの件は前の理事会でメンバーを理事会へ提出することとなったので，案がつけられた。趣旨は中立と発注者と受注者の三者で構成し，懇談会を開いて意見を交換することであると説明。これに対し理事会からも関係の理事2~3名を追加すること。理事会の意図を反映するような形とする等の意見が述べられ，メンバーの追加については安藤，鈴木(立)の各理事と相談して決めることでこれを承認。3) その他；① 学会職員給与のベースアップについて；羽田専務理事から，学会職員の給与は国家公務員に準ずるので，給与法の改正に伴い，ベースアップすることを承認願いたい旨発言がありこれを承認。② 1970年 Ramon Magsaysay 賞候補者の推薦について；羽田専務理事から，前の理事会の決定に基づき，会長，副会長および総務担当理事で審議した結果，藤井松太郎氏を推せんすることに決定し，調書を作成中であると報告，これを了承。③ 企画委員会について；安藤理事，羽田専務理事，国分副会長などから委員会の経過について説明があり，意見の交換が行なわれた。4) 委員の委嘱について

① 学術講演連絡委員会

委員 土屋 昭彦 建設省
桜井 彰雄 電力中央研究所
岸 力 北海道大学
佐武 正雄 東北大学
山内 利彦 名古屋工業大学
彦坂 照 九州大学

(44.12.2) 出席者：関係者2名。議事：委員会提出資料について打合せた。

(21) 水理公式集改訂委員会「発電編」打合せ会 (44.12.2) 出席者：嶋主査、千秋副主査、ほか4名。議事：1) 前回打合せ会議事録の確認。2) 本編執筆内容等の検討および確認。3) 執筆委員の交代について。4) その他。

(22) 土構造物の設計標準に関する研究委員会第2回委員会 (44.12.3) 出席者：最上委員長、ほか25名。議事：1) 委員、幹事の交代について。2) 幹事会経過説明。3) 第1回委員会議事録の確認。4) 第1編基礎構造物の設計標準の第1章基礎一般の原案について；a) 全体構成について、b) 条文・解説について。

(23) トンネル工学委員会沈埋トンネル小委員会 (44.12.3) 出席者：大平委員長、ほか11名。議事：1) 沈埋トンネル便覧(第1次案)の設計編および施工編の執筆と同一次案の再検討について。2) 村上委員より海外沈埋トンネルの視察報告。

(24) 論文集編集委員会部会長会 (44.12.3) 出席者：林、前田正副委員長、鍛冶部会長、ほか5名。議事：1) 各部会報告。2) 論文報告集掲載論文について。3) 論文報告集の意義について。4) 査読報告書について。5) 5部会割および部会長について。6) 今後の作業予定。

(25) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会分科会 (44.12.4) 出席者：寺島委員長、ほか23名。議事：下水汚泥の農地還元に関する調査結果の中間報告会を行なった。

(26) 大学土木教育委員会第12回幹事会 (44.12.4) 出席者：山口幹事長、ほか4名。議事：1) 経過報告。2) 座談会「大学土木教育に望む」の開催について。

(27) 企画委員会幹事会 (44.12.4) 出席者：関係者6名。議事：1) 土木学会組織図について。2) 企画委員会のありかたについて。3) 幹事会の運営方針。

(28) 会誌編集小委員会 (44.12.5) 出席者：森委員長、ほか5名。議事：1) 経過報告。2) 会誌原稿審査。3) 会誌55巻5号編集。4) 次回特集協議。5) その他。

(29) 欧文年報編集小委員会 (44.12.5) 出席者：川村委員長、ほか5名。議事：1) 欧文年報1970年版について。2) 写真真記入例について。3) 執筆要項について。4) 今後の作業予定。5) その他。

(30) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会材料施工分科会主査幹事会 (44.12.5) 出席者：樋口主

査、ほか7名。議事：プレストレストコンクリート設計施工指針施工編の逐条審議を行なった。

(31) 岩盤力学委員会(座談会) (44.12.5) 出席者：岡本委員長、ほか12名。議事：「岩盤の現地試験法について」の座談会；1) 岩盤の実測の経験よりみられた現地試験法のあり方。2) 岩盤工事の経験よりみられた現地試験法のあり方。3) 岩盤力学を応用する必要性を感じられた経験。4) 岩盤力学委員会の今後のあり方についての意見。5) その他。

(32) 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会第1、第2合同分科会 (44.12.5~6) 出席者：関係者7名。議事：報告書とりまとめのための仕訳作業を行なった。

(33) 第19回原子力土木技術委員会 (44.12.8) 出席者：左合委員長、ほか13名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 第8回原子力総合シンポジウム開催計画書(案)について。3) 第7回理工学における同位元素研究発表会について。4) 昭和44年度土木学会賞候補推薦について。5) 「エネルギー問題と原子力発電」の学会誌登載についての執筆者選定について。6) 原子力土木技術に関する新情報の提出とそれに関する討議。

(34) 岩の力学研究連合委員会(第4回幹事会) (44.12.8) 出席者：関係者7名。議事：1) 国際岩の力学会(ISRM)について；① 第2回国際会議(ユーゴ)について、② アンケートの回答について、③ 会員募集および会員について、④ 事務連絡事項について。2) Rock Mechanics in Japan(英文)の作成について。3) 幹事の交代。

(35) 第6回トンネル工学に関するシンポジウム事務局幹事会会議 (44.12.8) 出席者：関係者3名。議事：第6回トンネル工学に関するシンポジウムの海外むけ案内状の作成。

(36) PC工法小委員会フレシネー工法 (44.12.10) 出席者：国分委員長、河野主査、ほか22名。議事：フレシネー工法設計施工指針の逐条審議を行ない審議を終了した。

(37) 会誌編集委員会書評小委員会 (44.12.10) 出席者：石原委員長、ほか5名。議事：1) 経過報告。2) 受付図書審査。3) ブックガイド欄の件討議。4) その他。

◎その他

(1) 第16回風に関するシンポジウム (44.11.25)

場所：気象庁講堂

講演数：19題(内特別講演1)

参加者：約90名

(2) 第5回トンネル工学に関するシンポジウム (44.11.26~27)

場所：財団法人社会文化会館ホール
参加者：656名

講演：18題(内討論会2)

(3) 第3回日本地震工学シンポジウム(1970)準備会 (44.12.3, 土質学会会議室) 出席者：地震学会、土質学会、土木学会、日本学術会議など関係者11名。議事：1) 開催時期および会の名称について。2) 主催団体および幹事学会について。3) 運営委員会の設置および委員の選出について。4) その他。

(4) 第16回橋梁・構造工学研究発表会 (44.12.5)

場所：土木図書館講堂

テーマ：構造物またはその構成要素の終局強度に関する研究

講演数：17題

参加者：約180名

(5) 日本学術会議構造研究連絡委員会橋梁・構造工学分科会 (44.12.5) 出席者：仲委員長、ほか10名。議事：1) 前回研究発表会事務報告。2) 次回英文論文集原稿募集について。3) 英文論文集財政報告。4) 次回研究発表会のテーマについて。5) 今後の運営について。

支 部 だ よ り

◎関西支部

(1) 第12回溶射学術講演会 (44.11.25~26, 好文俱樂部)

共催：日本溶射協会ほか1協会

協賛：土木学会関西支部ほか5学協会

特別講演：1題

研究発表：8題

見学：万博会場

参加者：65名

(2) 「高張力鋼の現状と将来」講習会 (44.1~2, 大阪科学技術センター)

共催：日本材料学会関西支部・土木学会関西支部ほか4学協会

題目：7題

参加者：93名

(3) 都市交通の計算機制御に関するシンポジウム (44.12.2, 大阪科学技術センター)

主催：計測自動制御学会関西支部

協賛：土木学会関西支部ほか4学協会

題目：5題, パネル討議

参加者：159 名
 (4) 第 16 回海岸工学講演会
 共催：土木学会海岸工学委員会・土木学会関西支部
 講演会(44.12.11~12, 大阪科学技術センター)
 題目：55 題
 参加者：230 名
 懇親会(44.12.11, 大阪科学技術センター)
 参加者：55 名(内招待関係 4 名)
 参加費：1 000 円
 見学会(44.12.64, 神戸埋立, 港内見

学)
 参加者：50 名
 参加費：500 円
 (5) 第 5 回幹事会(44.12.18, 好文倶楽部)出席者：岡田幹事長, ほか 14 名。
 (6) 幹事交替
 (旧)西川竜三 建設省計画局建設業課建設専門官に転出
 (新)高野浩二 近畿地方建設局企画部技術管理官
 (7) 土木学会賞候補支部推薦委員会(第 1 回)(44.12.18, 好文倶楽部)出席者：委員 8 名。

(8) 第 2 回事務所建設計画準備委員会(44.12.5, 好文倶楽部)出席者：関係者 9 名。
 (9) 土木学会昭和 45 年度全国大会実行委員会総務部会(44.12.5, 好文倶楽部)出席者：岡田総務部会長, ほか 10 名。
 (10) 第 42 回騒音振動委員会(44.11.25, 好文倶楽部)出席者：庄司委員長, 畑中幹事長, ほか 8 名。
 (11) 騒音振動委員会幹事会(第 38 回)(44.11.25, 好文倶楽部)出席者：庄司委員長, 畑中幹事長, ほか 4 名。

**編 集
後 記**

本号では“衛生工学”についての特集を企画編集いたしました。私自身“衛生工学”という学問がいつ頃から起こったかということについてあまりくわしく知りませんが、今こそ、その重要性を声を大にして叫ばねばならないときであるということ“漠然”とながら認識している一人です。ここで“漠然”という表現を用いたのは、衛生工学が上下水道以外ではどのような分野でどのような貢献をなしているかについてははっきりした識見を持ち合わせていないからです。昨年の会誌 6 月号で“公害と土木技術”に関する特集がございましたが、この公害問題を例に取りましても、“公害”という言葉そのものが漠としたもので、広義に解釈すればあらゆる分野を網羅してしまい、一人の衛生工学技術者がその全分野に通ずることは不可能に近いと思われるためです。したがって、現在、衛生工学の分野で活躍しておられる研究者・技術者が、どのような“境界領域”に対し、どのような取り組み方をしているか、またしようとしているかを理解しなければ、衛生工学の内

容も理解できないのではないかと考えます。このような観点から、本特集では、まず、土木学会衛生工学委員会の委員の方々に、現在の研究分野とその分野での問題点などを披瀝していただいたわけですが、これを契機として会員諸氏の建設的な意見が誌上に反映されることを期待してやみません。

話は変わりますが、科学技術がめまぐるしく進展している今日、最近の会誌の内容からもわかりますように、土木の分野はますます拡大されつつあるように思われます。しかし、いかに立派な枝ぶりの大樹でもその根がしっかり地についていなければ、1 回の台風で根こそぎ倒れてしまうこともありうるわけですので、土木工学の根を丈夫に育てるといふ反省も忘れてはならないように思います。

立春とは名許りでまだまだ厳寒が続くそうです。万博や年度末を目前にして多忙な日夜をお過しの読者各位のご自愛をお祈り致します。
 (沼田 淳・記)

土木学会誌“合本ファイル”

土木学会誌を整理していただくために合本ファイル販売しております。1 ファイルで半年分(6冊)とじることができます。ご希望の会員は代金に送料を添えお申込み下さい。下記のとおりなるべく一括した方が送料が安くなります。

記

体 裁 B 5 判・薄グリーン・クロス装, ピン挿入式
 (株・テッサーの製造による)
 定 価 150 円
 送 料 1 部 100 円 17 部まで 200 円
 8 部まで 160 円 26 部まで 240 円
 申 込 先 土木学会(東京都新宿区四谷 1 丁目
 ・振替東京 16828)

